熊救協ホームページ開設

熊救協調査・研究委員会では、平成１９年９月に「熊救協ホームページ」を開設いたしました。熊本県内７つの施設一覧や熊救協の役員一覧、各施設利用者の平均年齢や年齢別一覧・在所期間状況等の利用者基本情報、**特に利用状況（緊急受入枠含む）をリアルタイムに公開しております。**また今後、皆様のご意見を踏まえ、より必要な情報が得やすいような内容にしたいと思いますので、是非ご活用下さい。

熊救協とは

掲示板

救護施設の紹介

お問い合わせ

利用状況

「利用状況」では、各施設の入所状況を掲載しております。
入退所等の人員変更日に随時更新を行っています。
（更新日に関係なく、最新のデータになります。）

関連リンク

http://kumakyukyo.sakura.ne.jp/

熊救協2007　No,11　編集後記

早いもので、この仕事に就きもうすぐ2年が過ぎようとしています。不慣れな仕事ということもあり「アッ」という間でした。それとも寄る年波のせいなのでしょうか･･･　最近は歳を重ねるごとに月日を早く感じている今日この頃です。
まだまだ経験不足で利用者の皆さんや同僚の方に迷惑をかけていますが、熊救協ホームページの掲示板等で他の施設方とのコミュニケーションを図り、自分なりに目標を持ち利用者のために改善等に努めていきたいと思います。まずは･･･!!　《熊救協調研委員：山富功一（しらがね寮）》

発行：熊本県救護施設協議会　　編集：熊本県救護施設協議会調査・研究委員会
事務局：〒861-1201　熊本県菊池市泗水町吉富今寺17-1
菊池園 Tel（0968)38－2956　Fax(0968)38－6017

2007年12月号
熊本県救護施設協議会

熊救協

阿蘇山の雪景色

「自立支援プログラムの推進」

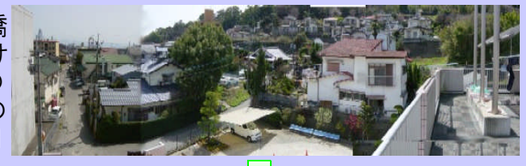
熊本県健康福祉部社会福祉課長　坂田憲久

初冬の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
また、日頃から施設の利用者の方々に対する適切な処遇に努めていただくとともに、生活保護の適正実施についてご協力をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。
生活保護行政を取り巻く環境は、三位一体改革の動きの中で様々な議論がなされるなど、大きく変化しています。
平成17年度から自立支援プログラムが導入され、就労自立、日常生活自立、社会生活自立を目指した個別支援プログラムの策定・実施が進められていますが、救護施設は、生活扶助の機能に加え、入所者の地域生活への移行支援や居宅生活をおくる被保護者の方々の生活訓練の場としての活用が期待され、さらに精神障害者等の社会的入院患者の受入先としての役割にも期待が寄せられています。救護施設が中間施設としての役割を強調される中で、被保護者の方それぞれの「自立」を実現するためには、救護施設と福祉事務所がこれまで以上に連携し、また、地域社会の理解と協力を得ながら、おひとりおひとりの支援プログラムを実践していかなければならないと考えています。皆様には、以前にも増してご協力、御尽力をよろしくお願いいたします。

各施設トピックス

【友愛会銀杏寮】～変わりゆく春日地域～

平成23年春にも予定されている九州新幹線の全線開業。JR熊本周辺も大きく変わろうとしています。在来線の横に新幹線の高架橋の土台が立ち並び、近隣に居住している私達も少しずつ実感がわいてきているところです。　銀杏寮のある春日地区も区画整理や熊本駅周辺の都市計画道路整備事業により、日々景観が変わりつつあります。
熊本市西部へのアクセスで利用されている陸橋が取り壊しになったり、道路も迂回路を利用しなければならず、工事が進んでいる現在も、新幹線の全線開業・道路整備が終了した後も、利用者の外出も不便になることが予想されます。また、春日校区内で交流のあった地域の方々が引っ越されたりと心細さも感じますが、反面、春日地区を盛り上げていこうとする動きもあり、銀杏寮としてもできる限りの協力をしていきたいと思います。
これまでも「地域と共に」をモットーに取り組んで参りましたが、今後もさらなる地域との連携強化を目指し、春日地区の発展に尽力していきたいと思います。



【千草寮】～楽しい交流会～

町内にある特別養護老人ホームの運動会に、招待があり参加しました。特養の人や通所の人。また、かわいい保育園の子供達と一緒に赤と白のハチマキに分かれて競技に参加したり応援したり、久々にハッスルしました。

施設でも高齢化が進みなかなか子供達とふれあう機会が少なかったので、保育園の可愛らしい踊りや歌には、心が和み楽しいひとときを過ごしました。

これからも、地域との関わりを重視し参加出来る行事には、積極的に参加したいと思います。帰りには特別養護老人ホームの施設を見学しました。

【天草園】～小学校ふれあい交流会～

地元小学校の学校教育の一環として、「人と人との関わりの中で、自分を大切にすると同時に他への思いやりを大切にし、豊かな感性を磨き、共に生きることができる力を育てる」ことを目的として始まった交流会で、始めの3年間は5年生のみ年1回から2回程度の交流であったが、平成16年度より全学年を対象とし月1回のペースで交流を続けています。交流内容も、端午･桃の節句へ参加しよう！スポーツを一緒に楽しもう！一緒に大掃除を頑張ろう！正月の集いを楽しもう！等多岐に渡っており、10月はバーベキューを一緒に楽しもう！のテーマで、5･6年生21名と先生1名が参加され、利用者･職員合わせて約100名の昼食バーベキューで交流を図る。各テーブルに、利用者2名～3名･小学生1名～2名･職員1人の計5名で組分けし、約1時間色々な話をしながらバーベキューを楽しむ。又、バーベキューの食材として、一般的な肉･野菜の他天草特産の車海老やきびなごを準備、特にきびなごはとても美味しいと人気が高く、利用者･小学生ともにとても喜んで頂く。

【菊池園】～自分たちの力で『利用者主体の自治会活動』～

菊池園が開設してはや35年がたち、30年まえから利用者がおこなっている菊池園自治会の活動もここ数年でようやく利用者のみで運営できるようになりました。

自治会をスタートした時は職員が全てアドバイス（企画、運営）を行い利用者は“ただついていくだけ”ということが多かったのですがいまでは、役員9名がスポーツ、作業、レクリエーションの3班に分かれて様々な行事、作業等を企画･運営しています。

＜自治会活動の主な内容＞

総会･役員会の実施（毎月1回：必要に応じて役員会実施中）

各行事での役員活動（忘年会、カラオケ大会、菊池園記念祭等）

作業計画及び掃除当番計画及び実施

（園内･外美化作業、空き缶拾い、体育館除草作業、孔子公園清掃）

各クラブ活動実施（ゲートボール、グランドゴルフ、園芸等）文化祭、施設内での作品展示等

【真和館】

夏の旅行と野坂の浦荘との交流を兼ね、９月に1泊旅行を実施しました。

１日目、野坂の浦荘との交流会を行い、両施設の入所者や職員が一緒に、「1･2･3ダー！ゲーム」と「シャッフルゴルフ」を行いました。他施設の方々との初めての交流会。緊張していた顔もゲームが始まると選手も応援も笑顔でいっぱいでした。

野坂の浦荘の皆様、本当にお世話になりました。その夜のバーベキュー大会、2日目の御立岬公園敷地内にあるゴーカート、釣りや温泉、星野富弘美術館のコースに分れてのレクリエーションと、思いっきり芦北路を堪能した旅行になりました。

【野坂の浦荘】

10月19日、第26回の運動会が行われました。昨年同様、地域の方々による勇ましい「ソーラン節」、田浦保育所の園児達の可愛らしく元気のあるダンス等に加え、芦北町民生委員の方々の踊りの飛び入りなど盛り上がりました。最後の種目の「甘夏音頭」にはたくさんの飛び入り参加があり大きな輪で踊ることが出来ました。来荘された方から「来年も楽しみにしています」と言われ、利用者･職員とも地域の方々との交流の温かさを実感しています。

【しらがね寮】～今度は大正琴クラブ始めました！～

昨年、女性利用者８名の希望により新設をしました。「おしゃれクラブ」は、目的である「ゆとりと美しさ」を手に入れ、早々と静かに幕を閉じました。全員が顔のマッサージやパックにより1？歳程、若返ったように感じました。

今回、新たに「心の安らぎと和の調和」を感じるために、男女14名の利用者で「大正琴クラブ」を始めました。当初は慣れない楽器ということもあり、覚束ない感じでしたが、8ヶ月経った現在では指がそよ風のように流れ、美しい音色が施設内に安らぎを与えています。今回は、早々と目的達成ということがないよう、寮生活の生きがい、利用者の交流の場合として大正琴クラブを続けていきたいと願っています。